



～青龍祭情報～

平成31年2月更新



●H31.1.26 竹切り・竹出し作業を行いました。

当日は、関東でも雪の予報が出ているほど寒い日でしたが、村の青龍保存会、建設協力会、地域おこし協力隊、事務局計20名で約80本の真竹を切り出しました。



今年は、例年とは違う場所での作業となり、皆様のご協力によりスムーズな作業のもと、ケガもなく無事に終了することができました。若い方々の活気ある動きや、ベテランの方々の的確な指示など、今年の青龍祭に向けて皆さんが一緒になって作業されていることがうれしく感じられました。

実行委員会は、今年の青龍祭に向けて動き始めました。次回の作業は、2月です。本日切り出した竹で、タガや胴体の骨の一部を作成します。また、カヤ場の管理も引き続き行っていきます。ご協力いただきました皆様、本当にありがとうございました。



●H31.2.7 カヤ場の管理を行いました。

夏に刈ったきりだったカヤを10cmほど残して刈り取りました。すっかり冬色のカヤの中に、隠れるように緑色の新芽がでていましたが、今年の夏に向けて全て刈りました。今年もいいカヤが育ってくれるよう祈るばかりです。カヤは、長さや色など、龍のうろこになるためとても重要な龍の一部です。冬の間には刈ることで、また元気な新しいカヤが育っていきます。今後も様子を見ながら、カヤの株の間の草刈などを行っていきます。



●H31.2.23 竹割り・タガ作り作業を行いました。

雨の予報で天気が心配されましたが、当日は晴れで作業日和となりました。

本日は、先月切り出した竹を4分割と8分割にし、それらを使ってタガや骨格の一部を作成しました。実行委員をはじめ、青龍保存会・建設協力会・地域おこし協力隊の方々22名の方にご協力をいただき、ケガもなく作業をすることができました。ご協力いただきました皆様、本当にありがとうございました。



今年度の作業は本日で終了です。次の作業は、6月に緑ことぶき連合会の皆様の指導のもと、小学生とわらすぐり作業を行います。今年も村内の皆様からワラをいただきました。村の方々に様々なご協力をいただき青龍祭が行えることに、実行委員一同感謝を申し上げます。

